

 第7期「金の認証シール」受賞

「孫と映画館に行きたい」 福祉用具の活用と機能訓練で夢を実現

～在宅で複数のサービスを活用した取組～



左から、佐々木満さん、小泉千秋さん、大月義正さん、高橋隆男さん

松葉杖を使いこなせるように

大月さんは糖尿病のため左足を切断し、義足と松葉杖を使用するようになりました。福祉用具専門相談員は手すりなどを設置して住環境を整備するとともに、その後義足が合わず外すことになると、松葉杖を安全に使えるよう調整を行ったのです。

映画好きな大月さんが抱いていたのは、「孫と映画館に行きたい」という夢。実現に向けて、介護支援専門員は医師の助言に従って、運動によって血糖値を改善させることと、松葉杖を体の一部のように使いこなせることを目標にしました。そして機能訓練特化型の通所介護で、大月さんの腕と下肢筋力を強化する機能訓練を行ったのです。



障がいに合わせた機能訓練を重ねる

義足を外す決断をしたときには気持ちが洗むものもありましたが、柔道整復師が大月さんに「諦めないで、今の機能を生かして生活を続けていきましょう」と寄り添う言葉をかけて背中を押すと、大月さんの意欲が復活。食事管理を担う奥さまの支えもあって血糖値が改善し、体調もよくなりました。そこで「一般席で映画を観たい」という大月さんの新たな目標を達成しようと、チームが意思統一しプロジェクトに参加。機能訓練に、バランス訓練や関節可動域を広げるストレッチも加えました。大月さんも「体を動かすのは楽しい」と、通所介護を1日も休まずにリハビリに努め、その目標も達成したのです。チームは、受賞を機に大月さんの気持ちがさらに上向くなっていると手ごたえを感じています。

チームケア体制

ケアセンター小田本通り
(居宅介護支援)
主任介護支援専門員
高橋隆男さん

孫と映画館に行きたい
大月義正さん (74歳)
要介護度 2+1
日常生活活動 (ADL) 27+24

リハビリセンターいづみ
大島店
(通所介護)
柔道整復師
小泉千秋さん

メディケアセンター川崎
(福祉用具貸与)
福祉用具専門相談員
佐々木満さん

利用者の状況やケアの変化

平成28年6月	● 糖尿病により左下腿を切断
平成28年7月	● 要介護2 移動は車いす、平行棒での歩行訓練を開始
平成29年6月	● 義足を使用し、松葉杖で移動できるように 定期的な点検では、松葉杖の握り減り方などまで細かく確認して調整しました
平成30年2月	● 通所介護利用開始
令和2年9月	● 義足の使用をやめるため、安全に松葉杖を使用できるよう上肢帶の抵抗運動を開始
令和4年1月	● お孫さんと映画館に行き、車いす専用席で鑑賞
令和4年9月	● プロジェクト参加 「一般席で映画を観たい」と希望
令和5年1月	● 松葉杖を使用し、一般席で映画を鑑賞 鍼灸師の知識も生かして、専門職に的確につないでいくことを心がけました
令和5年4月	● 要介護1に改善 先を見据えて松葉杖で生活できるようリハビリを計画しました
令和5年9月	● 金の認証シール受賞

CHECK! インタビューを特設サイトでも！ 

06

介護サービス事業所紹介 07